

心身共に健康で意欲高く働く

富士フィルムマニュファクチャリング株式会社 鈴鹿事業所

業 種：事務用機器製造業
従業員数：約1,350名
所在地：鈴鹿市

令和6年度の具体的取組

- ① 働く女性のためのライフプランと男性育児参画についての教育実施
- ② 禁煙啓発活動(喫煙率のさらなる低減に向けて)の実施
- ③ がん検診の受診率を向上させる取り組み
- ④ ロコモティブシンドローム予防活動(個人の運動器の機能測定と認識)の実施

令和6年度の取組成果

- ① 2023年度に続き、三重県福祉部を通じて産婦人科医による『若年層に向けたライフプラン・若年～更年期に至る女性特有の健康課題について』の講演と『イクボスの推進』の講演を開催した。2024年度は、より多くの男性従業員が理解を深める事を目的とし、積極的に参加の呼びかけを行った。その結果、鈴鹿事業所では65名が参加し、そのうち男性が約半数の28名を占め、女性特有の健康課題と男性の育児支援に対し、男女共に理解を深める事が出来た。
- ② 喫煙者へ向けて『受動喫煙防止』の重要性、卒煙成功者から応援メッセージといった禁煙を推進する情報を事業所内各所の掲示板で発信した。禁煙意思のある従業員へ卒煙プログラムの紹介するなど卒煙応援活動のアプローチを実施し、2024年の鈴鹿事業所の喫煙率は前年から5.0%低減した12.9%の結果となり、目標とした15.0%以下を達成した。また、全社の結果が14.4%であり、鈴鹿事業所が卒煙活動を牽引している。
- ③ 従業員へ「早期発見・早期治療の大切さ」を周知し、各種がん検診について意向調査と受診希望者へ各自治体の受診案内などの受診勧奨を行い、受診完了までのフォローを実施した。各種検診(胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)の受診率は年度目標を達成し、全てが受診率90%超える結果となった。
- ④ つまづきや転倒防止活動の一環で、自身の歩行における運動器の機能を知るため、ロコモティブシンドロームに関わる体力測定を実施。各種目の測定結果と評価および気づきが見える化して本人へフィードバックし、各自が能力(筋力・バランス機能)レベルの認識を持つ事が出来た。



【ライフプラン&イクボス推進の講演】



【喫煙率の推移】



【運動器の機能測定】

今後の取組

- がん検診の受診勧奨・生活習慣の改善に向けて、継続的に活動を行い更なる向上を目指す
- DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の取り組み活性化による女性ライフプラン・育児/介護支援の充実等の施策を強化する
- ロコモティブシンドローム予防活動として高年齢層へ体力向上の取り組みを行い、つまづきや転倒による災害の未然防止を図る

従業員が心身ともに健康でいきいきと働ける健康づくりを積極的に推進すること、そして「100年を生きる時代」の社会の人々に生きる力、生きる楽しさを提供していくことを目指していきます。